

堂々たる政治・あたたかい改革 (赤字：与謝野が主導した仕事)

0. 景気後退への対応 ～ 緊急対応と体質改善

- 物価高と景気後退へ「安心実現のための緊急総合対策」を早期実現 →8月末経財相とりまとめ
- 「持続可能社会」への体質転換によって「持続的な景気拡大」の基盤を作る。
 - ・ 安心な社会保障構築によって貯蓄を動かす。金利正常化による預金収入増と消費拡大へ。
 - ・ 原油・食料高に対応した「持続可能社会」への改革で、内需拡大と国際競争力の強化。

1. 勝ち組・負け組のない社会づくり ～ 人の痛みがわかる政治へ

- 行き過ぎた市場原理主義政策の検証・改善。 → c型肝炎問題解決へ総理を動かす
- 高齢化率世界一の国にふさわしい医療・介護保障（地域医療、ガン対策、介護人材など）。
- 基礎・高等教育充実。人材教育と雇用体系の健全化（非正規、ニート・フリーター対策）。
- 意欲ある女性と高齢者や障害者が制約なく、のびのびと経済・社会活動できる社会づくり。

2. 地方と地域経済に新たな元気を

- 中小・零細企業の支援強化（金融支援、農商工連携、新たなビジネス機会づくり）。
- 地方分権の推進。地方税財源の充実・安定化。 → 今年度に4000億の地方税収再配分を主導
- 高速道路料金の抜本引下げによる人・モノ流通活発化。民間資金によるインフラ整備。

3. 「希望ある農林水産業と安心な食卓」 ～ 「農政大転換」

- 食糧安保の強化と、食の安全確保にむけて「10年間で食料自給率50%」の工程表。
- 水田フル活用などのために、農業所得の保障と充実。農地法制見直し。消費・輸出拡大。
- 自立可能な森林・林業経営への支援と国土保全。資源管理型漁業への転換加速

4. 信頼できる政府へ ～ 「行政再生」 →政調会長として郵政民営化法案をとりまとめ

- 徹底したムダ撲滅と行政監視の強化、地方出先機関の整理統合。
- 年金実務など信頼再構築の費用は、議員・公務員給与1割削減で捻出。
- 消費者庁創設。多重債務対策。公務員制度改革。議員・公務員定数削減。天下り排除。

5. 国民の安心のために安定財源を ～ 「財源なくして安心なし」

→ 2006年度財政再建目標を策定、財政再建議論で党内を主導、道路財源の一般財源化を総理に働きかけ等

- 所得税、法人税、消費税、相続税、寄付税制などを国民議論の下で抜本改革。
- 高齢化社会への安心確保のために「皆保険・皆年金」は守り抜く。「中福祉・中負担」のための医療・年金・介護制度改革と「社会保障税」による安定財源確保。
- 将来世代にツケを回さない少子化対策と子育て支援の充実

6. 地球温暖化の阻止と国民的省エネ運動

- 世界最先端の低炭素社会の実現。投資、技術、ライフスタイル転換などを加速。

7. アジアの発展・世界の平和への積極関与 →通産大臣としてFTA外交を開始、資源外交

- アジアの成長維持へ貢献。北朝鮮の核・拉致・ミサイル問題の解決への対処。
- 人的文化交流、直接投資、産業協力など日本型ソフトパワーで世界に貢献、資源確保。